

議事録

第25回日本獣医がん学会獣医腫瘍科認定医認定委員会

【日時】 2023年1月23日（月） 20：00-21：00

【場所】 Zoomにて開催

【議長】 皆上大吾

【書記】 林光児 五十嵐宏之 廣瀬僚

[出席者（敬称略、順不同）]

皆上、杉山、武田、小山田、古川、佐藤（恵）、齋藤、諏訪、児玉（恵）、林、村上、高木、田川、五十嵐、高梨、廣瀬、児玉（和）、山本、水上、成田、塚田、田戸、保坂、秋吉、佐々木、下田、水野、佐藤（敏）、伊藤（秀）

1. 報告事項

1) 2種試験に関して（古川）

- ・ 2022年度試験結果についての報告：資料1参照
- ・ 地雷問題の設定過程について（古川）
地雷問題設定過程は、認定委委員全員へ問題作成を依頼し、完成した問題を2種担当者が適正かどうかを判定・修正をする。その後、学識経験者を経て地雷問題を設定する。そして最終的に皆上委員長が試験問題確認と地雷問題を確定する。
- ・ 地雷問題は、「認定医となるものなら間違っはいけない」という内容を、複数の学識経験者が設定している（皆上）
- ・ 合格率はこれまでと横ばい、受験者数は前回まで増加していたが、今回はやや減少となった（皆上）

2) 1種1次試験に関して

- ・ 2022年度試験結果について：資料2参照
- ・ 受験者数、合格者数とも増加しているため、1種2次試験の受験方式について検討する必要があるかもしれない（皆上）
- ・ 1種2次試験担当者として、募集要項の提出と締め切りを例年より1～2か月早めて受験者数を把握したい。受験者が32名までであれば例年通り、超過すれば試験室を3部屋にするか、試験室を8室にし、試験官も倍にして対応するというのが一案（武田）

3) 1種2次試験に関して（武田）

- ・ 2022年度試験結果について：資料2参照
- ・ 例年通り4試験室/8名の試験官による試験を実施し、全員の協議により合格者1名を選定。認定委員会にて承認を受けた（武田）
- ・ 合格発表後、登録申請を受け付け、登録申請があれば認定医委員会へ勧誘し、来年の学会で授与式を行う（武田）

- ・合格候補者は4名いたが、1名のみ点数が突出、残り3名は5位以下とも大きく差がなかった。また、態度や言動が認定医としてふさわしくなかった者がいた。以上より、協議の結果1名のみ合格とした（皆上）
- ・今回は受験者が減少傾向であったため、懸念された試験室や試験官の不足は生じなかったが来年以降もその懸念は残る（皆上）

4) 次回認定試験に関して

- ・来年度認定医試験は2023年10月8日（日）新宿ベルサールで手配済み（杉山）
- ・昨年はVCSと日程が重複したが、今年は重複しないことを確認済み（杉山）
- ・各試験担当者からの準備状況や今後の予定を報告（皆上）
- ・2種試験は3月末頃に認定委委員、2種講習会担当者に問題作成依頼を予定。5～6月に担当者が集まり問題の選定を行う予定（古川）
- ・1種1次試験担当者は会議不在につき次回に報告を延期。例年通り進めるように依頼（皆上）
- ・1種2次試験は、例年通りのスケジュールで面接官の依頼と試験問題を作製予定。受験者数の把握のため、前述のとおり募集要項の提出と締め切りを1～2か月早める予定（武田）
- ・2022年の試験結果は学会の総会での承認を経て最終的な合格となる（皆上）

2. 審議事項

1) 動物看護師の国家資格化に伴う対応について

- ・看護師の国家資格化に伴い、がん学会として指針の提示や認定看護師などの看護師教育を行う予定があるか（古川）
- ・現在看護師の職域の合意や線引きが明確でないため短期的には難しい。今後必要ではあると考えるため、認定医委員会ではなく理事会直属のワーキンググループでの枠組み作成等を考えている（皆上）
- ・動物看護師の学会への参加や、その区分について質問を受けている。まずは理事会で看護師教育の審議をしたうえで認定委委員会への協力を仰ぎたい（杉山）
- ・看護師の学会への正式参加を認めるのかも含め理事会で審議したい（皆上）

2) WVCC世界大会（2024年3月開催）に関して（杉山）

- ・29回獣医がん学会と共催となる。そのため、来年1月の学会は開催されない。その際、2種講習会の日程をどうするか委員へ意見を求める。
- ・学会とは別にオンライン開催、学会中の同時開催などが選択肢になるが、同時開催の場合はWVCCの参加費が本学会の参加費に比べ高額であるため、参加費の区分を設定するなどする対応が迫られる。現執行部は学会へ集中させるという目的から別日に設定したいと考えている（杉山）
- ・認定医講習会のために単独で会場を用意する場合は、高額な費用が必要なため、本来は学会と同時にやりたい。全体の費用などを考慮し理事会や実行委員会で協議することになると思われる（皆上）

- ・ 認定医講習会は、現地参加にて押印をすることを重視する旨の合意があるため、WEB開催はその合意から外れてしまうのではないか（水上）
- ・ WVCC参加費が通常学会より高額になるため、別開催、別日程も考えている（皆上）
- ・ コロナ禍の特例としてWEB開催の実績があるため、世界大会を特例としても整合性は取れるのではないか（杉山）
- ・ 世界大会は木～日曜日であるが、2種講演会を学会と同時開催する場合、日程を木～日曜の間にすることも可能であるし、前後の水曜や月曜にすることも可能である（杉山）
- ・ WEB開催は反対。講習会はWVCCとは別日に設定した方がよい（古川）
- ・ WVCCの聴講のため、講習会は別日に設ける方がよい（秋吉）
- ・ 費用だけであれば安い会場を探すことは可能（杉山）
- ・ 講習会の曜日は何曜日が良いと考えるか（杉山）
→事前に案内があれば何曜日でもよい（秋吉）
- ・ WVCCと講習会は同時開催でもよいのではないか（田戸）
- ・ WEB開催は否定的。日程は可能なら同時開催が良いと考える。早朝や遅い時間帯に講習会を開く方法もある。1日参加券という方法はどうか（児玉（和））
→WVCC側が1日参加券は否定的である（杉山）
- ・ 本会議の提案を踏まえ、今後理事会やWVCC側と協議する（杉山）

以上

資料 1

第 12 回獣医腫瘍科認定医Ⅱ種試験結果

試験実施日：2022 年 10 月 16 日（日）

会場：ベルサール新宿グランド コンファレンスセンター5F

- ・ 受験者数：305 名
- ・ 欠席者数：22 名

- ・ 最高得点：751.5 点
- ・ 最低得点：248.2 点
- ・ 平均点：578.8 点
- ・ 標準偏差：102 点

【合格基準】

・ 例年同様に、平均点+1 標準偏差（本年度は 680.8 点）および診断学と治療学で地雷問題該当なし

【合格者/合格率】

- ・ 28 名/9.1%

（参考資料：2013-2021 年までの合格者/合格率は、16-45 名/7.6-15.9%）

認定委員会メール審議を行い、賛成多数で承認された

認定医 2 種担当

長田 保坂 五十嵐 高梨 古川

資料 2

認定医委員会 I 種一次試験報告

第 12 回 I 種一次試験結果

●試験概略

実施日： 2022 年 10 月 16 日

会場： ベルサール新宿グランド コンファレンスセンター 5F

出願者数 37 名

受験者数 35 名 2 名欠席

合格基準

試験： 診断学・治療学各 3 問合計 6 問 各 100 点満点 合計 600 点

合格基準： すべての問題で平均点以上 地雷問題を踏まない

合格者 7 名

資料3

1 種 2 次試験 結果報告

【試験概要】

実施日：2022年10月16日（日）

会 場：ベルサール新宿グランド コンファレンスセンター5F

面接官（試験室順）：細谷、遠藤、石田、杉山、皆上、小山田、藤田、武田

- ・ 出願者数：23名（前回24名）
- ・ 受験者数：22名（前回24名）
- ・ 欠席者数：1名
- ・ 最高得点：267.5点
- ・ 最低得点：182.0点
- ・ 平均点：221.05点
- ・ 標準偏差：22.66点

メール審議で資料送付のため他省略

認定委員会メール審議の結果より合格者を以下の1名とした

221216 1名

合格率：4.5%（1/22）

【今後の予定】

- ・ 2023年 2 月上旬:合格発表
- ・ 同時に認定医 1 種登録申請開始、認定委員会へ勧誘。
- ・ 登録申請結果をもって認定証盾の準備開始。
- ・ 第 28 回日本獣医がん学会において認定証授与式
- ・ 同時に各合格者に試験講評を手渡しの予定。
- ・ 次回試験2023年10月8日（日）

会場：ベルサール新宿グランド コンファレンスセンター5F 予定

資料4

次回認定試験に関して

来年度試験日程 2023年10月8日@新宿ベルサール